

研修企画書

No.19-407

テーマ (サブテーマ)	経営改善のための財務分析力向上講座 ～コンサルティング能力を財務の視点で高めるコツを学ぶ～				
研修のねらい	的確な経営支援を行うためには、過去の経験やイメージに頼るのではなく、決算書に示された数字を客観的に読み取り、解決すべき課題を正しく捉える知識や分析手法をしっかりと理解し、柔軟に使いこなす実践力を磨いておくことが重要です。本研修では、決算書から経営課題を把握して有益な経営改善策を立案するための財務分析手法とその実践方法について、ケーススタディや演習を交えて具体的に学んでいただき、支援担当者としてのコンサルティング能力の向上を図ります。				
受講対象者	中小企業支援担当者並びに中小企業支援協力機関の役員及び職員であって中堅担当者または職務経験5年程度以上の方等			募集人員：30名	
研修期間	2019年11月19日(火)～11月21日(木)〔計3日間〕			研修時間：21時間	
会場	中小企業大学校直方校			受講料：23,000円	
月日	時間	科目	内容	講師(敬称略)	
11月19日 (火曜)	9:10～9:30	開講式・オリエンテーション			長尾公認会計士事務所 代表 長尾義敦
	9:30～12:40	財務の基礎知識 の再確認	決算書から企業の経営状況や課題等を読み取るために必要な財務の視点について、決算書の基礎知識も含めて再確認をしていただきます。		
	13:40～17:30		<ul style="list-style-type: none"> ・決算書の基礎知識のおさらい ・支援担当者が押さえておきたい計数感覚 ・大企業・中小企業と小規模企業の決算書の違い ・決算書の数字から現場を推察する視点 ・キャッシュフローと資金繰り 		
	18:00～19:00	受講者交流会			
11月20日 (水曜)	9:00～12:40	財務分析と経営支援 のポイント	支援企業の課題とその解決策を検討する上で、企業の今後の方向性や未来像を設定し、強みとなる経営資源や経営環境の要因を組み立てながら理想を実現させるシナリオと計画をどのように構築していくのかについて、ケーススタディや演習を交えて学んでいただきます。		
	13:40～17:30		<ul style="list-style-type: none"> ・決算書を活用した目利きとは ・実務で役立つ財務分析の勘所 ・資金繰り表から読み取るべきこと ・損益分岐点と収益構造の捉え方 ・財務分析と定性面の分析結果の結び付け方 ・ケーススタディ(演習) 		
11月21日 (木曜)	9:00～12:40				
	13:40～16:30				
	16:30～16:40	終講式			

※初日の講義終了後、受講者交流会(18:00～19:00)を予定しています。

※カリキュラムにつきましては、都合により一部変更する場合がございますので、予めご了承ください。

講師紹介	<p>長尾 義敦(ながお よしあつ) 長尾公認会計士事務所 代表</p> <p>公認会計士試験合格後、朝日監査法人(現あずさ監査法人)に約10年間勤務し、長尾公認会計士事務所として独立 <主な業務内容・実績> ・事業再生・経営改善計画策定支援、債権管理・在庫管理・資金管理改善支援、M&A検討支援 ・研修講師(経営改善計画策定支援研修、各地認定支援機関向け講習会等)</p>
------	---